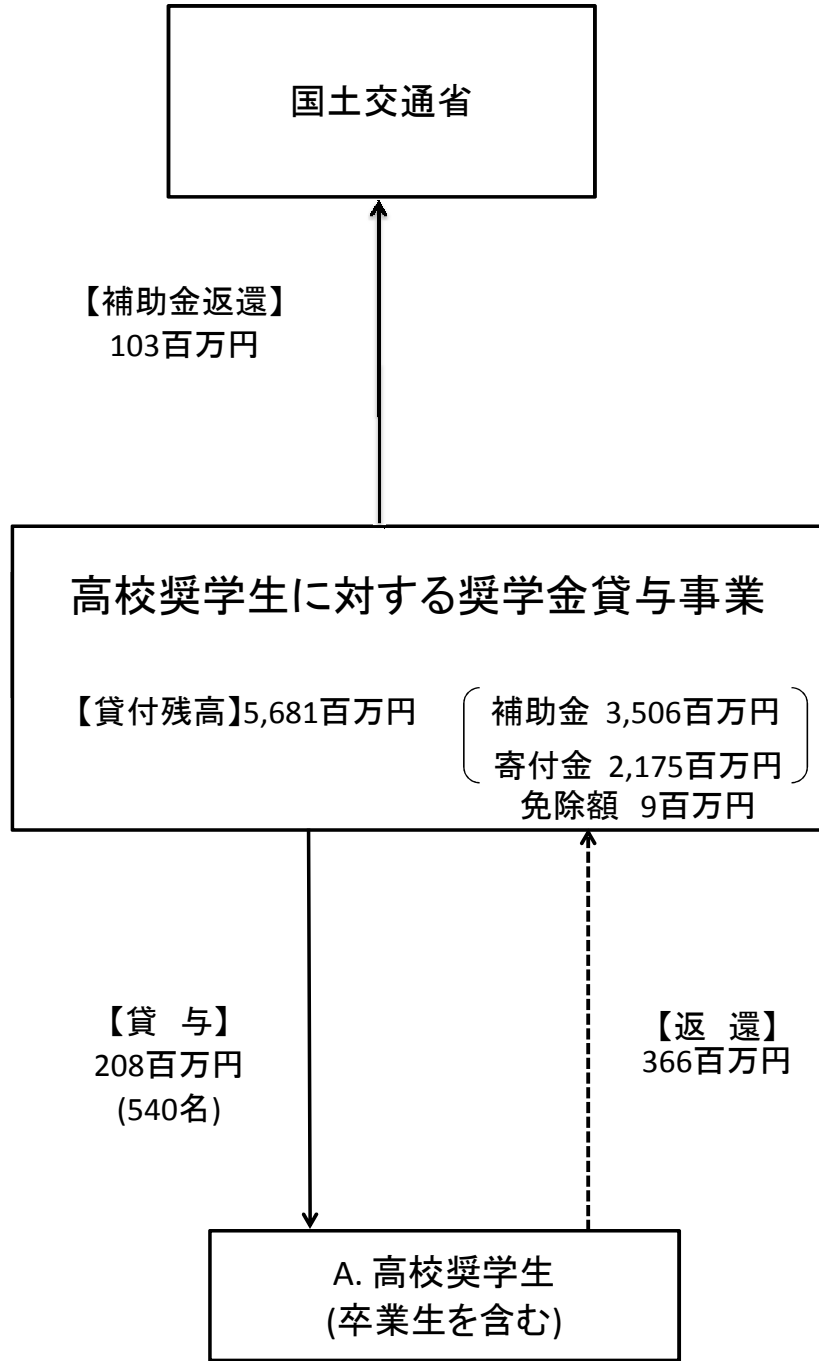


平成25年基金シート (国土交通省)

基金名	交通遺児に対する奨学金貸与事業		担当部局	国土交通省自動車局		作成責任者	
法人名	(公財) 交通遺児育英会		担当課室	保障制度参事官室		参事官 吉田 耕一郎	
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	-		関係する行政事 業レビューシ ート	-
事業概要 (5行程度。別 添可)	(1) <input type="checkbox"/> 取り崩し型 <input checked="" type="checkbox"/> 回転型 <input type="checkbox"/> 保有型 <input type="checkbox"/> 運用型 <input type="checkbox"/> その他 (2) <input checked="" type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> 債務保証 <input type="checkbox"/> 利子助成、補給 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 補てん <input type="checkbox"/> 出資 <input type="checkbox"/> その他 交通遺児である高等学校生等が経済的理由により修学が困難な場合、修学に必要な奨学金を貸与						
基金への国庫から の支出の経緯 ①	基金設置年度	昭和44年度	当初/補正 (会計区分)	当初 (自動車損害賠償責任再保)	国費額 (単位:百万円)	20	
	目的	交通遺児である高等学校生等が経済的理由により修学が困難な者に対する奨学金の貸与を行う事業に対して補助					
基金への国庫から の支出の経緯 ②	追加年度	別紙のとおり	当初/補正 (会計区分)	別紙のとおり	国費額 (単位:百万円)	別紙のとおり	
	目的	交通遺児である高等学校生等が経済的理由により修学が困難な者に対する奨学金の貸与を行う事業に対して補助					
国庫納付の経緯 ①	年度	別紙のとおり			国庫納付額 (単位:百万円)	別紙のとおり	
	目的	行革推進本部の基金の見直しにおいて、今後返還される額が新規貸付額を上回り、貸付残高が減少する場合、当該減少分における補助金相当額を国庫へ返納することとなったため。					
終了予定時期	交通事故は減少傾向は続いているが、毎年1,500名程度の学生に奨学金を貸与しており、引き続き社会的要請が強いため、終期は設定していない。						
収入・事業費等 (単位:百万円)	収入	国費	22年度	23年度	24年度	25年度見込み	
		国費以外	-	-	-	-	
		奨学金返還額①	423	401	366	362	
		前年度繰り越し	3,769	3,743	3,609	3,506	
		(マイナス)返納額	108	104	103		
	合計(a)	4,192	4,040	3,872	3,868		
	事業費等	奨学金貸与額②	242	220	208	187	
		(マイナス)奨学金免除額③	13	15	9	10	
		合計(b)	255	235	199	197	
	補助金残高 【(a)-(b)-①+②-③】	3,743	3,609	3,506	3,486		
貸付(基金)残高 【前年度貸付残高-①+ ②-③】	6,044	5,848	5,681	5,496			
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標(目標年度)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度 見込	目標年度 見込み
	交通事故による死者数は減少傾向にあるものの、今後想定される交通遺児数の把握は出来ないことから、定量的な目標を設定しない。	活動実績 (当初 見込み)	()	()	()	()	()
単位(1件)当たり の事業費等	(円/件)	算出根拠	交通事故による死者数は減少傾向にあるものの、今後想定される交通遺児数の把握は出来ないことから、定量的な目標を設定しない。				
保有割合 (基金事業に要する費用 に対する保有基金額 等の割合)	1.01	算出方法	H24年度末基金残高÷(H24年度末貸付残高+H25年度貸付見込額-H25年度回収見込額+H25年度管理費見込額) 5,681÷(5,681+187-362+73)=1.01				
所見/対応状況	今後返還される額が新規貸付額を上回り、貸付残高が減少する場合、当該減少分における補助金相当額を国庫へ返納させている。						
補記	※当会は、基金を設置せずに高校就学生に対する奨学金貸与事業を行っているため、貸付残高を基金残高とみなしている。						

※平成24年度実績を記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目と
 使途の双方で実
 情が分かるよう
 に記載)

A.高校奨学生			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	奨学金貸与金	0.48			
計		0.48	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 高校奨学生

	支出先	業務概要及び採択理由	支出額 (百万円)
1	a	高校奨学生に対する奨学金貸与	0.48
2	b	"	0.48
3	c	"	0.48
4	d	"	0.48
5	e	"	0.48
6	f	"	0.48
7	g	"	0.48
8	h	"	0.48
9	i	"	0.48
10	j	"	0.48

B.

	支出先	業務概要及び採択理由	支出額 (百万円)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

C

	支出先	業務概要及び採択理由	支出額 (百万円)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

D

	支出先	業務概要及び採択理由	支出額 (百万円)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

別紙

○国庫納付の経緯①

年度	国庫納付額 (単位:百万円)
平成20年度	130
平成21年度	111
平成22年度	108
平成23年度	104
平成24年度	103

別紙

○高校奨学生に対する奨学金貸与事業への国庫からの支出の経緯②

追加年度	当初／補正 (会計区分)	国費 (単位:百万円)
昭和44年度	当初 (自動車損害賠償責任再保険特別会計)	20.000
昭和45年度	当初 (自動車損害賠償責任再保険特別会計)	20.000
昭和46年度	当初 (自動車損害賠償責任再保険特別会計)	20.000
昭和47年度	当初 (自動車損害賠償責任再保険特別会計)	30.000
昭和48年度	当初 (自動車損害賠償責任再保険特別会計)	30.000
昭和49年度	当初 (自動車損害賠償責任再保険特別会計)	100.000
昭和50年度	当初 (自動車損害賠償責任再保険特別会計)	150.000
昭和51年度	当初 (自動車損害賠償責任再保険特別会計)	182.785
昭和52年度	当初 (自動車損害賠償責任再保険特別会計)	188.428
昭和53年度	当初 (自動車損害賠償責任再保険特別会計)	174.579
昭和54年度	当初 (自動車損害賠償責任再保険特別会計)	195.290
昭和55年度	当初 (自動車損害賠償責任再保険特別会計)	220.752
昭和56年度	当初 (自動車損害賠償責任再保険特別会計)	251.988
昭和57年度	当初 (自動車損害賠償責任再保険特別会計)	230.738
昭和58年度	当初 (自動車損害賠償責任再保険特別会計)	323.557
昭和59年度	当初 (自動車損害賠償責任再保険特別会計)	388.000
昭和60年度	当初 (自動車損害賠償責任再保険特別会計)	409.367
昭和61年度	当初 (自動車損害賠償責任再保険特別会計)	354.637
昭和62年度	当初 (自動車損害賠償責任再保険特別会計)	349.453
昭和63年度	当初 (自動車損害賠償責任再保険特別会計)	350.775
平成元年	当初 (自動車損害賠償責任再保険特別会計)	163.132

平成2年	当初 (自動車損害賠償責任再保険特別会計)	112.607
平成3年	当初 (自動車損害賠償責任再保険特別会計)	16.401